



2020年5月13日
東京海上日動火災保険株式会社
株式会社ディーカレット

ブロックチェーン技術を利用した 保険契約における業務プロセスの自動化に関する実証実験を実施 ～スマートコントラクトを用いた保険金支払業務の自動化～

東京海上日動火災保険株式会社（取締役社長 広瀬 伸一 以下：東京海上日動）と株式会社ディーカレット（代表取締役社長 時田 一広 以下：ディーカレット）は、2020年3月より、保険料の領収や保険金支払いといった保険契約における業務プロセスを対象に、ブロックチェーン技術を利用した自動化に関する実証実験を実施いたしました。

1. 背景

保険をご契約いただく際には、保険料のお支払いや保険金の受け取りなど、様々な手続きが発生します。デジタル通貨やブロックチェーンの特徴を活かした業務プロセス・決済プロセスの実現は、これらの手続きをこれまで以上に効率化・迅速化することができ、お客様の利便性向上が見込まれます。また、保険会社の業務効率化・迅速化に大きく貢献することも期待されています。

そこで、東京海上日動はディーカレットと共同で、デジタル通貨とブロックチェーンによる決済実証実験を実施いたしました。なお、東京海上日動は2018年1月にディーカレットに出資をしており、本実証実験は資本提携業務の一環となります。

2. 概要

本実証実験では、ディーカレットが構築中である、「ブロックチェーン上でデジタル通貨を発行・管理するプラットフォーム」を活用し、保険料の領収や保険金支払いといった業務プロセスの自動化に関する技術検証を行いました。具体的には、ブロックチェーン上に保険契約の情報などを事前に登録しておき、事故が発生した際に当該事故情報をブロックチェーンに読み込ませることで、保険金支払い条件に合致したか否かを自動的に判定し、保険金をデジタル通貨で即座にお支払いする仕組みの有効性について検証しました。

また、東京海上日動と東京海上日動の若手有志団体であるTib^{※1}に対して、ブロックチェーン上でトークンを発行し^{※2}、トークンを保険料や保険金と見なすことで、スマートコントラクト^{※3}を用いた保険金請求支払業務の自動化に関する有効性を実証しました。

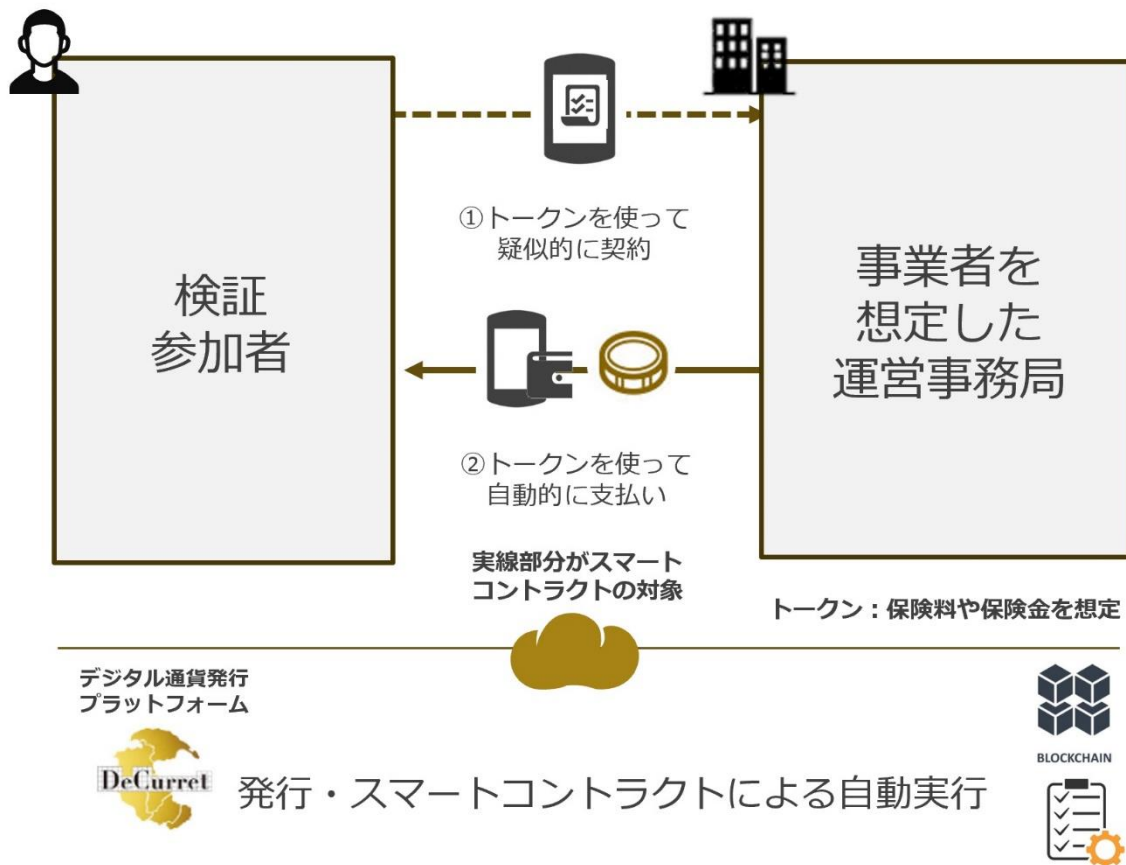
東京海上日動とディーカレットは、今後も、効率的で、より良い保険の仕組みづくりを検討してまいります。

※1 有志で集まった東京海上グループの若手社員が、大企業ならではの習慣やルールといった縛りを打開し、もっと自由に、夢中になって挑戦出来る「わくわく感」を社内に醸成するべく集まった団体

※2 今回発行したトークンは、デジタル通貨であり、本実証実験の関係者内だけで使用し、円との交換は行いません。

※3 送金や決済といった取引に伴うさまざまな処理を自動化する仕組み

スマートコントラクトによる検証事項の概要



(ご参考) ディーカレットのプラットフォームの特徴

ディーカレットが構築したプラットフォームは、利用企業が独自にデジタル通貨を発行可能な機能を備え、スマートコントラクトを利用した処理の実装も可能です。また、取引にまつわる一連のプロセスを効率化し、少額のお金のやり取りもリアルタイムに実現します。

これにより、ダイナミックプライシングやリアルタイム決済といったブロックチェーンの特性を活かした幅広いサービスの展開を支援します。

今後、ディーカレットはプラットフォームの事業化を目指しており、既存の決済サービスへの価値移転や交換機能・サービスなど、デジタル通貨の利便性を高めるサービスの提供を増やしていく予定です。

以上

■会社概要

<東京海上日動火災保険株式会社>

企業名 : 東京海上日動火災保険株式会社
URL : <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>
所在地 : 東京都千代田区丸の内1-2-1
設立 : 1879年8月
資本金 : 1,019億円
代表者 : 取締役社長 広瀬 伸一
事業内容 : 損害保険業

<株式会社ディーカレット>

企業名 : 株式会社ディーカレット
URL : <https://www.decurret.com/>
所在地 : 東京都千代田区富士見2-10-2
設立 : 2018年1月
資本金 : 113.82億円(資本準備金含む)
代表者 : 代表取締役社長 時田 一広
事業内容 : デジタル通貨の取引・決済を担う金融サービス事業
暗号資産交換業者 関東財務局長 第00016号
令和元年法律第28号附則第10条第1項に基づくみなし金融商品取引業者
加入協会 : 一般社団法人日本暗号資産取引業協会

※記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。